

絶対

シェルブポート ルイジアナ州 アメリカ合衆国

1963年12月01日朝

1 それはただあなたに何かをしてくれるものではありませんか？確かにそうです。さあ、祈りの中で頭を垂れましょう。主よ、それがこの素敵な賛美歌「輝く日を仰ぐとき」で私たちに表現されているように。そして、もしあなたがいなかったら、今朝私たちは何をしようと思いませんか？そして、あなたがとても素晴らしいと私たちが考え、あなたの愛があなたに私たちのことをとても気にかけるように制約したとき、私の魂はそれをほとんど受け入れることができません。それは本当です。

今日、私たちがさらに奉仕に入るとき、あなたが私たちに祝福を与えてくださり、キリストの啓示である命のパンを私たちに壊してくださることを祈ります。イエスの御名によってそれを尋ねるからです。アーメン。

2 ウングレン兄弟はタバナクル(幕屋)に絶えずやって来ており、テネシー州メンフィスに住んでいます。彼と彼の母親、彼の妻、そして家族全員が幕屋にやって来ます。そして、いつも忙しいので、彼の言うことを聞くことはめったにありません。しかし、今朝、私は彼がこの歌を歌うのを聞くことに決めました。彼は私のお気に入りのもう一つの「彼の栄光から降りて」を歌っています。そして、それらは私のお気に入りの曲です。

そして、私は今朝彼の父親に会うという大きな特権を持っていました。私とその特権を初めて得たのは立派な人でした。そしてウングレン兄弟。彼の父親は息子が生きている限り行くことはありません(モリス)彼らは確かに似ているからです。

そして、彼の妻であるモリス・ウングレン兄弟の母親は、神の恵みによってこの15年間生きてきました。彼女は確かに私に大きなインスピレーションを与えてくれました。彼女が持っている暗い時間を過ごしながら、神の不変の手を握っているのを見るのです。それは私たちにキリスト教の信憑性とそれを信じる人々の信仰を表現しています。ですから、今朝はとても嬉しいです。

3 階下で結婚式をしました。私の子供のうち2人は結婚しました。タバナクル(の私の子供たち—私たちの小さなビリー・シンプソンと小さなマイヤーズの女の子。彼らはしばらくの間恋人でした。シェルリ、はい。彼らはでした。彼らはまた、ここではウングレン兄弟と彼らと親戚です(または小さなシェルリ・マイヤーズはそうです)。だから私たちは彼らに満足しています。私は彼らが結婚した後に彼らの代わりになったのを見ます—教会の講堂に戻って、礼拝を聞くために座ってください。

それらの子供たちは、みことばにとってもそれぞれに対応しているので、いつも私の心の奥深くにいるのです。彼らはみことばが大好きです。私はそうは思いません。。。私は彼らを私の子供と呼んでいます、彼らは他の子供よりも優れているとは思いません。しかし、彼らはただ私に目を向けています、そして私は彼らを神に期待しています。

4 リトルビリーは結婚したかったのと、その時陸軍に行かなければならないのではないかと心配していました。そして、同じ状態の二人または3人がいました。そして、それらの少年たちが私のところにやって来て、「ブラナム兄弟、私たちはシャーカーや何かになりたくありませんが、あなたに神に尋ねて欲しいのです」と言いました。そして、彼らは私に彼らができれば軍隊から離れたらという根拠を与えてくれます。彼らができることで国を守りたくなかったからではありませんが、問題は、彼らが行った場合、彼らは間違ったタイプの人々の中に入ることになるということでした(私はあなたが何をしているのか分かりませんそれを呼んでください)、PX、またはあなたがそれを呼んでいるもの。そして、それらのハーフヌードの女性が続けているところに出て行くために—それはクリスチャンの男の子のための場所ではありません。そして、神は彼らの要求を認めました。そして今、小さなビリーはこの素晴らしい小さなシェルリと結婚するために今朝来ます。だから私たちは彼らに満足しています。そして、私たちは彼らが彼らのために神の国で最高のものであることを願っています。

5 そして今、これは私たちにとって素晴らしい時でした。私たちは今朝ここで素敵な日曜学校のクラス、満員の教会を得ました。とても幸せです。そして何度もミニスターたち。それは私たちが人々が来てあなたの言うことを聞くのを見るのを奨励します。ここに人が1人いたとしても、同じように話します。しかし、それでも、「これを見逃すと、もう一方がそれを手に入れる」と考えると気分が良くなります。そしてそれはそれを違ったものにし、それを輝かしくします。

6 そして今、ちょうど今のインタビューで、これは私たちがこれほど速く彼らに出くわすことができるようにするためです。私は出てきたときにブトリエール兄弟に会いました、そして私はここに来て以来彼に会って

いませんでした。私は「どこに行ったの?」と言いました。

彼は「彼らのために七面鳥の夕食の準備をしている」と言いました。それで、私は彼に私がいくらかを失ったと言っていました。彼は言いました「あなた..」

私は「あなたは少し変わっていません」と言いました。

彼は「あなたも持っていない」と言いました。

私は「それは本当に建前だ」と言いました。しかし、あなたが知っている、私は持っています。私は170から145に行きました。それで私は確かに変わりました。私のスーツはすべて小さすぎるか、私には大きすぎます。そして、誰かが先日私を手に入れてくれたので、ここでそれを着ることができました。肩にぶら下がらず、ウエストラインが重なっていたのです。しかし、私はそれをやる機会がある間、イエス・キリストのために最善を尽くそうとしています。そして、あなたの素晴らしい出席者。

7 私はちょうど今部屋で彼らに話していました、私は偉大な聖霊がそこにいる女性の体から癌を取り除くのを見ました。彼女はテキサス出身の女性です。

そして、ほんの少し前に、ある女性がそこに座っていました。つまり、これほど緊張している人、ミニスターの妻を見たことはありませんでした。そして主は私に彼女がそこに座っているという幻を見せてくれました、そして私は彼女を見ました。彼女はニューヨークで電話をしてきました、そして彼女はここに滑り込みたかったのです。彼女はたった5分しかありませんでした。それから彼女の夫が潰瘍で苦しんでいるのを見ました。そして、潰瘍を引き起こしたのは彼の妻への関心でした。全能の神はそこに座っているその女性を静めました。彼女は今私を見ながら座っています。それで、そしてまた、私はあなたに言いたいのです、兄弟、あなたの潰瘍は終わったのです、見てください。あなたは今元気になり、主の業に戻ります。

さて、主がなさる何かを見たとき、それで満たすことはできません。あなたはただ続けたい、続けたい、続けたい、続けたいのです。

8 そして今、昨夜私たちは素晴らしい祈りの礼拝をしました。そして、それは良いことです。それは大丈夫です、病人に手を置いてください。それは良いことです。たまに必要なのはそれだけです。そして、そこには彼らが捕まえられない何かがあるというものがあります、そしてあなたはその人にそれが何であるかを見つけさせる必要があります、見てください。彼らを妨げている何か、邪魔をしている何かがあります。そして、1つの小さな影がそれを振動させます。

さて、少し前にそこにいたお嬢さんはとても緊張していて、とても怒っていました。かわいそうな小さな仲間、彼女は息をすることさえできませんでした。彼女はただ[ブラナム兄弟が息を吸ったり吐いたり、息を切らして息を切らしていた。]そしてただ続けていたのです。

9 さて、ここであなたがしなければならないことはです。少し内側にありますね。それは彼女の霊を捕らえています、見てください。そして、あなたは彼女にあなたの考えを投影しているのです、見てください、そしてあなたは彼女の考えを変えています、見てください。それがそれをするとき、あなたは彼女をキリストの中心に置くことができ、そこから彼女は続けることができます。

しかし、あなたは彼女の考え方を変えなければなりません、見てください。彼女は自分でそれを変えることはできません。彼女はただ旋風を巻き起こしていました。そして、あなたはそれを拾わなければなりません。今、あなたにいくつかを与える小さな何かがあります。それを勉強しようとしなくてください。それをしないでください。ただそれを信じて、続けてください。

10 その母親の腕の中に横たわっているあの小さな赤ちゃんが、その朝の9時から、そしてちょうどその夜、その夜、どうして死んでいたのでしょうか。その小さな霊はどこにありましたか？ あなたはその霊を見つけに行き、それを取り戻さなければなりません。そして、あなたがそれを見るとき、戻ってきたときに、あなたは主の名によって立ち上がってそれを呼ぶことができます、見てください。その後、それが起こります。しかし、それをするまでは、息を無駄にしているだけです。

それほど不思議なことではありません。それは神を見つけることです。あなたは自分自身を邪魔にならないようにし、聖霊に彼がやりたいことを何でもあなたに使わせているのです。それだけです。

どんな賜物の主なことは、あなた自身の考えを取り去り、キリストに任せることです。それからそれが言

ったことは何でも。それがキリストかどうか知りたいなら、ただの感覚、それを放っておいてください。しかしそれが単なる感情である場合は、それを放っておいてください。しかし、それがみことばに書かれているなら、それは神です。どんな霊もみことばによってあなたに告げるすべてを常に判断してください。みことば—そのみことばから決して逃げないでください。そうした場合、あなたは失われます。

11 さて、私たちは正午までとどまり、そのように話し、聖書をめくって、ここでいくつかの聖句を読みましょう。そして、私たちはに行きます。私は神の言葉が大好きです。私たちは皆そうしていることを知っています。今、持っていませんでした。私は今朝、説教するか、日曜学校に、天地の創られて以来、イエス・キリストに明らかにされて以来、神の隠された奥義について話すつもりでした。そして、私はそれをすべて実行する機会を得ませんでした。結婚式が来るのを忘れました。だから、私は、多分次回来る時にそれを得るでしょう。

12 さて、私は聖書の3つの場所からいくつかを読むつもりです。ピリピ人への手紙第1章から最初に読みたいです。ピリピ人への手紙の第1章19節から始まり、22節まで読みます。

なぜなら、あなたがたの祈と、イエス・キリストの霊の助けとによって、この事がついには、わたしの救となることを知っているからである。

そこで、わたしが切実な思いで待ち望むことは、わたしが、どんなことがあっても恥じることなく、かえって、いつものように今も、大胆に語ることによって、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストがあがめられることである。

わたしにとっては、生きることはキリストであり、死ぬことは益である。

しかし、肉体において生きていることが、わたしにとっては実り多い働きになるのだとすれば、どちらを選んだらよいか、わたしにはわからない。

13 さて、ローマ人への手紙を読み終えて、ローマ人への手紙の第8章と第35節から始めて、私がテキストとして取り上げたいものに基づいて構築したいと思います。

だが、キリストの愛からわたしたちを離れさせるのか。患難か、苦悩か、迫害か、飢えか、裸か、危難か、剣か。

「わたしたちはあなたのために終日、

死に定められており、

ほふられる羊のように見られている」

と書いてあるとおりである。

しかし、わたしたちを愛して下さったかたによって、わたしたちは、これらすべての事において勝ち得て余りがある。

わたしは確信する。死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、

高いものも深いものも、その他どんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスにおける神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのである。

14 使徒2章と30節：

彼は預言者であって、『その子孫のひとり王位につかせよう』と、神が堅く彼に誓われたことを認めていたので、

さて、これは多くの聖句であり、聖書のある場所から別の場所へと移動するようなものです。しかし、これだけ多くの聖句を読んだら、私たちを助ける何かをそこに見つけるでしょう。今朝この主題を取り上げたいので、神が「絶対」という言葉、つまり絶対的な言葉として私たちを助けてくださいますように。

15 今、私たちはこのテキストを調べていたとき、私は辞書に行きました。なんだろうと思いました。誰かが言い続けます、「それは絶対的な真実です。絶対に、それだけです。」

私は「その言葉は何ですか？ それはどういう意味ですか—絶対ですか？」そして、私はそれが何を意味するのかを見つけるために辞書に行きました。

ウェブスターは、「それ自体は完璧で、その力は無限で、主に究極のものです」と言っています。を参照してください。その力には限りがなく、それ自体が完璧であり、それは本当に究極の「絶対」という言葉です。そして、私はこれを言い、あなたがこれらの言葉を理解することを信じたいと思います。なぜなら、私は訓練を受けた聖職者ではないからです。方法。そして人々を魅了する魅力的な何かをもたらす心理的な方法。私は、私がする唯一のことは、キリストが私に与えてくれた友達のおかげで、できる限り最善を尽くすことです。そして、彼らに私のキリストについての考えを見てもらいたいのです。

16 今、すべての素晴らしい成果は絶対に結びついていて、あなたは絶対を持たずに人生を走ることはできません。それが絶対的でなければ、あなたは成果を上げることはできません。それが最後のタイポストであるため、それは旅の終わりのヒッチラックです。それはあなたが何かに縛られている場所です。

私たちが今住んでいて、すべてがとても壊れていて、とても壊れやすく、夢中になっている時代に、このメッセージは、特にクリスチャンが深海を通過しているときに、非常に適切なものになると思います。クリスチャン教会は、過去2000年間で最も深い水の中を通り抜けています。なぜなら、私たちはキリスト教に提示された何か、彼らが決定しなければならぬ何かがある場所に来ているからです。

そして、クリスチャン教会は、聖書が「教義のあらゆる風によって運ばれる」と言っているように、風が水の上にただ浮かんでいるのではなく、彼らが結びついていて、何かを持っているべきだと思います。風が来て、このように小さな葉を吹きます。そして別の風が来ます—北風、南風、東風、西風。あなたはどこにも行かないでしょう。あなたは安定していません。クリスチャンの生活は安定した生活でなければなりません。それは何かである必要があります。あなたがそれに結びついていて、人生そのもの以上のものです。

17 そして、あなたはあなたが縛られている何かを持っている必要があります。一部の人々は彼らのビジネスに縛られています。家族と結びついていて人もいます。いくつかは信条に結びついていて、いくつかは陸軍のポストに結びついていて、私たちにさまざまな関係があります。

しかし、私はクリスチャンとして、正しいとわかっているところに縛られるべきだと思います。あなたはあなたの家族に縛られているかもしれません。そしてあなたの妻はあなたを離れることができます。あなたは軍隊に縛られているかもしれません。そしてあなたは殺されるかもしれません。そして、あなたは別のことに縛られているかもしれません。そして、それは終わりを迎えました。しかし、最終的なタイポストが必要です。その人が彼の永遠の目的地のために結びつけなければならない場所がなければならないからです。あなたがあなたの仕事でそれを信頼するつもりなら、あなたの仕事が終わったときにそれは終わりです。あなたの家族が連れて行かれるとき、それは終わりです。

18 しかし、私が思うのは最後のタイポストだけです。

そして、私はパウロがここでの彼の人生にタイポストを持っていたと信じています。そして、私たちがそれをそのように呼ぶなら、私は味方して、そのタイポストについて話したいと思います。彼は、「私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益である」と言いました。さて、キリストはパウロの絶対的な存在でした。それは彼の結びつきでした。それは彼のものでした。それはすべての議論の終わりでした。でした。キリストは彼の結びつきだったのです。

19 パウロはいつもその結びつきを持っていたわけではありません。彼はかつてパリサイ人のグループと結びついていました。そして、彼らが彼を受け入れ、彼を彼らのポストに縛り付けることができるように、彼は訓練され、教育されなければならませんでした。

しかし、ある日、彼はダマスコへの道を進んでいました。そして彼はイエスと直接会いました。そしてそこから、彼はパリサイ人との結びつきから切り離し、再び自分自身を縛り直しました。彼が十字架につけられたことを知っていたイエスが死に、そして再びよみがえられたこと。パウロはその人に会ったのでそれを知っていました。それが彼を変えました。それ以来、彼は決して同じではありませんでした。彼はただ本に出会ったことはなく、信条に出会ったこともありません。彼はその人、イエス・キリストに会いました。

「主よ、あなたは誰ですか？」

彼は「私はイエスです」と言いました。

その変換について少し考えてみましょう。パウロは誠実な人だったと思います。これは日曜学校なので、日曜学校のように教えたいです。パウロは深く誠実な人だったと思います。そして、彼について他の誰とも違うことは何もありませんでした。

20 それらの預言者は皆、私たちと同じように男性でした。聖書はそう言っています、ヤコブの手紙5章：「エリヤは、わたしたちと同じ人間であったが、雨が降らないようにと祈をささげたところ、三年六か月のあいだ、地上に雨が降らなかった。」彼には浮き沈み、浮き沈みがありました。そして彼は雨が降らないように真剣に祈りました。

そして、パウロは私たちと同じような人でした。彼は慌てて、疑いを持っていました。そして彼は正直な人でした。彼は世界で最も素晴らしい宗教の宗派の1つに行きました。そして彼はその宗派の教師になり、最も偉大な教師の一人であるガマリエルの下で教えられていました。彼らがその日に持っていた最高の教師。彼の両親はそれを見て(パウロの人生に何かがあるのを見て)、彼が神のすべての律法で教えられるように、彼を学校に送るために一生懸命働きました。そして、深い誠意をもって、彼はそのすべての言葉を信じました。

21 そして、彼はこの種の下層階級の人々について、そして奇跡を行い病人を癒すはずのガリラヤで育った預言者(いわゆる彼のグループによって)がどのようにいたかについて聞いていました。しかし、彼が属していた彼の宗派は、この預言者であるという人、このナザレのイエスを受け入れませんでした。なぜなら、彼は彼らと彼自身を同一視していなかったからです。それで、パウロは彼自身の人々の宗派がそれを信じなかったの、それを行くことができませんでした。そして彼らはそのようなことに対して彼に警告していました。

そしてパウロは正直に言って、「これが神のものではなく、私の教会がそれが神のものではないと言っているなら、やるべきことは一つだけです。それを取り除くことです。」それはだから、邪魔にならないように言った。それは邪魔になります。それは彼の信じる宗派に対する成長、悪性腫瘍でしょう。それで彼は心の中で彼が外に出てこの悪性腫瘍を(彼がそれを呼んだように、または彼の教会がそれを呼んだように)彼の立派なパリサイ人のグループから切り離すことを目的としていました。

22 ある日、大祭司からの手紙をポケットに入れて、その状態にあったすべての人々を逮捕しました(それがパウロに課せられた罪だったからです)、彼はダマスコと呼ばれる都市への道を進んでいました。彼らはエルサレムの周りで彼らを静めさせました。だから、彼はステパノを石で打ちました、そしてパウロは彼に石を投げさせました—証人を与えて、コートを持っていました。今、彼はここに降りて同じことをし、この大きな障害を取り除きます。

しかし、約、それは正午頃だったに違いありません、11時か12時ごろ、彼は打たれました。そして彼がそうしたとき、彼は見上げました、そして彼の前に立っている光がありました、そしてこの光から「サウル、サウル[質問]、なぜあなたは私を迫害しているのですか?」と言う声が出ました。

さて、パウロは、あるいはサウルは、彼らがエジプトから出てきて以来、彼の民が同じ光に従っていたことを知っていました。そして、あなたは聖書のラムサ訳を見たことがありますか? 神の古いヘブライのしるしは、三角形の光であり、多かれ少なかれそのようなものです。1つの神の頭に神の3つの属性があるということです。そして、この三角形の光(スリーインワンは1つの神)は、神のヘブライ人へのしるしでした、光。

23 そして、モーセが茂みの中で彼に会ったとき、彼は「私はいる」と言いました。それは、昨日、今日、そして永遠に、同じ神なのです。そしてモーセは燃える茂みの中で彼に会いました。彼は光だった。そして、彼がイスラエルの子供たちを荒野から導き出したとき、彼はモーセが信仰によって見た契約の天使であり、エジプトを見捨て、キリストの非難をエジプトよりも大きな宝物と見なしていました。信仰によって、モーセはそれが油注ぎであるキリストであることを見ました。そして、油注ぎは特定の人にはありませんでしたが、それは火の柱の形でした、見てください。

そして、その同じ油注ぎが彼のバプテスマに降りてきて、キリストに入り、彼の中に住みました。ヨハネはそれが彼であることを知っていました。彼は言いました、「あなたが彼らをエジプトから荒野へ、そして荒野から約束の地へと導いた御霊を見る者の上に、あなたは神のこの三角形の形が降りてきて、彼の上にとどまるのを見るでしょう。聖霊と火でバプテスマを授けるものです。」

24 さて、パウロはまだこれを見る特権を持っていませんでした。しかし、あなたにそれを真実にするために、

ユダヤ人は偶像またはそのようなもの前でお辞儀をすることをとても禁じられていました。さて、彼はこの大きな光を見たとき、それが主であることを知りました。「主」とは、所有権、支配権を意味します。彼はそれが霊であることを知っていたとき、ヘブライ人の頑固なものを「主」と呼ぶことはなかったでしょう。しかし、彼は同じ火の柱が彼の民を導いたものであることを知っていたことに注意してください。それから彼は戻ってきて言いました、「主よ、あなたは誰ですか？ あなたは誰ですか？ 私はあなたが誰であるか知りたいです。あなたは私がいるという名でモーセに会いました。」

しかし、私はこの考えで少しだけそこで止まります。

25 イエスは地上にいたとき、彼らが見たもので油を注がれ、気づき、「私は神(霊、光、火の柱)から来て、神に戻ります」と言われました。そして、彼は私たちの罪のために死ぬために肉体にされました。

それから彼の死、埋葬、復活、そして昇天の後、彼が昇った後、40日で彼は昇りました。そして50日目に、彼は人々の間で火の柱の形で戻ってきて、火の舌のように彼自身を分離し、彼らのそれぞれの上に座りました。そして、彼らは皆聖霊に満たされ、御霊が彼らに発声したので、他の言語で話し始めました。

ほら、神がご自身を引き離されているのです。神は、まず、大きな火の柱の中にいます。神は人体に現れました。さて、神はご自身をご自分の民の間で引き離しました。火の柱が崩壊し、それぞれに、二股に分かれた炎のなめや舌のように座っていました。火のフォーク、火のような裂けた舌がそれらのそれぞれの上に座っていました。そして、彼らは皆それで満たされ、御霊が彼らに発声を与えると、異言で話し始めました。

26 ご覧のとおり、私たちは分断された人々ではありません。私たち一人一人が神の一部を持っているので、私たちは団結しなければなりません。そして、私たちは一緒に来なければなりません。そして、火の柱は全体に、その完全さに現れます。彼の教会が天国の場所に一緒に座っているとき、神の力の充満は彼の教会にあります。霊的な賜物と霊的な役職を持っている私たち一人一人が一緒になって、その火の柱を再び持ち帰ります。

そしてパウロはそれが主であることを認めました。そして彼は言った、「主よ、私があなたを迫害しているのなら、あなたは誰ですか？」

彼は言った、「私はイエスです。そして、あなたが刺し傷に対して蹴るのは難しいです。」そしてパウロは、まっすぐと呼ばれる通りを上り下りするように命じられました。そしてそこにアナニヤスという名の預言者がいて、幻を見てバプテスマを授けました。そして彼は...でした。聖書を研究するために3年間アラビアに行き、彼に現れたこの火の柱が何であるかが分かるためでした。

27 さて、パウロの残りの人生はその結びつきのためにそれを持っていたことがわかります。彼は神と直接会い、神から委任されました。なんとという結びつきでしょう。なんて絶対なんだ！ それですべての議論は終わりました。それがパウロのすべての終わりでした。すべての争い、すべてがなくなった。

パリサイ人が言ったこと、サドカイ人が言ったこと、または他の誰かが何を言ったかは気にしません。彼はみことばによって立証された神に会いました—それがそれを解決しました！ それは彼の残りの人生でした、なぜなら彼は神が現れるのを見て、それがみことばによって、そして彼がいた形と形によって、そして彼に話しかけた可聴の声によってそれが神であることが彼に証明されたからです。まさにそれが何であったか。

さて、それは素晴らしいことでした。彼が前に言うことができるのも不思議ではありません。アグリパ：「私は天国の幻に不従順ではありませんでした。」彼はそれに縛られていました。現実の何か、彼が知っている何か、誰も彼から奪うことができない何かがありました。

28 さて、今日、私たちが聖書を説明するために教育、または機械的な教育方法だけを信頼しているなら、私たちは精神的な概念からしかそれを手に入れていません。しかし、この説教壇のすぐ後ろに福音を宣べ伝える権利を持っている人は誰もいません。

モーセのように、砂漠の裏側に。彼がどれほどよく教育されていても、何が起こっても、彼は神と共に聖地に立っていたので、誰も彼からそれを奪うことはできなかったので、彼の恐れと慌ただしさが残っていました。

29 そして、神との経験を持つすべての男性または女性は、あなたの心の聖地でこの同じ火の柱に出会いました。神学者も、悪魔も、何もありません。パウロは、「現在も、将来も、死も、病気も、悲しみも、キリスト・イ

エスにある神の愛から私たちを引き離すことはできない。」と言いました。それは結びつきなのです。あなたは何かが起こったことを知っています。

どんなに科学が引き上げられ、「これ、あれ、または他の」と言っても、あなたは縛られています。あなたと神は一つになります。彼はあなたの中において、あなたは彼の中にあります。「その日、あなたは私が父の中において、父が私の中において、私があるあなたの中において、あなたが私の中にいることを知るでしょう。」あなたは彼と結びついています。

30 そしてパウロはキリスト中心の生活を送っていました。それは彼がかつて持っていたのとは違う人生でした。彼はかつて教育的な概念を持っていました。しかし今、彼はキリスト中心の人生、絶対的な人生を送っています。

アグリッパがいくら言っても、「パウロ、あなたは夢中になっています。あなたは気が狂った。あなたは勉強しすぎました」と彼は言いました、「私は怒っていません。」

そして、彼は「あなたは私をクリスチャンになるように説得するところだった」と言うまで、そのような方法でアグリッパに乗り込みました。

彼は言いました。私と同じですが、これらの絆です。」

パウロが持っていたようなキリスト中心の生活を得るとき、それはあなたに物事をさせます、通常あなたはしません。さて、見てください。通常、その人は、すべての聖句と物事の訓練を受けていましたが、通常、彼は訓練されたその線に従っていたでしょう。しかし、彼がなるとしてキリストを彼の絶対的で彼の究極のものにしたので、それから別の人生がありました。彼は違うことをした。彼はかつて訓練されたことに夢中なことをした。

そして、それは同じことをするでしょう。

31 教会がその教会協議会から離れて、戻ってきて神の言葉を彼らの究極のものにするなら、神の言葉を彼らの結びつきの柱にするでしょう、それはそれをするでしょう。しかし、彼らは人為的な成果に結びついています。聖書は彼らがそうするだろうと言っていたので、それは必ず落ちるでしょう。

しかし、天地が創られる前から選ばれていた花嫁がいるでしょう、それはその柱に結び付けられるでしょう。

32 エデン以来、私は永遠の崩壊を見ることができます。そして、それが起こったとき、カルバリーまでずっと、そしてカルバリーから、このラインで結ばれた血のラインが来て、タイポスト、イエスに続きます。そしていつの日か、彼が自分自身を主張するようになると、その究極に結びついているすべての人が永遠に引き上げられます。なぜですか？ 彼らはずっと永遠にいます。

彼らは永遠に運命づけられていました。彼らは神の一部です。彼らは最初彼の考えの中にもいました。そして、その大きなロープ(私が話していた血の線、そのトークン)が地球から上がってくると、その血に含まれていたすべてのものが再び永遠に落ちるでしょう。しかし、それがなされる唯一の方法は、その絶対的なイエス・キリスト、その絶対的なものに結び付けられます。人間の功績ではなく、神が彼を死からよみがえらせたのです。

そして彼は絶対です。そして、私たちは彼が生きていることを知っています、なぜなら彼はここで彼の復活の力で私たちと一緒にいて、彼がこの地上にいたときと同じことをしているからです。

33 私はその究極に縛られています。これですべての争いは終わりです。私はそれに縛られています。それが私の人生です。私は罪人でした。キリストが私を救ったとき、私は何かに出会いました。そしてそれが私に入って以来、それは異なっていて、私はそれに縛られています。私のすべてはそこに結ばれています。そして、神は彼の命を分けて、私を彼の中に、そして彼を私の中に住まわせてくださいました。そうすれば、私たちは縛られます。

他の人が信じたいことには何の違ひもありません。個人にとって、あなたはそれに結びついています。それがあなたの究極です。それが最後の言葉です。そして、もし彼が御言葉であるなら、これが最後の言葉でなければなりません。これで解決する必要があります。それが何を言っても、それはその緋色の糸です。それがキリストです。そしてそれに反することは何でも、私はそれについて何も知りません。

それが私たちが知りたいことです—この言葉が言っていることです。なぜなら、私はキリストと結びついていて、キリストはみことばだからです。わかりましたか？そして、この日に割り当てられた彼の言葉の部分である彼の聖霊は、言葉のその部分を明らかにするためにここにいます、

34 ちょうどそれが彼の誕生時にそこに戻ったように—イザヤ9:6。

聖書を通して、すべてが彼について語られ、それは成就されました。ルカ書の中で、私たちは(言う)それを見ています。そして、彼は終わり、彼は彼の予言の終わりでもありました。彼はそれを成し遂げました。歴史、歌、彼について語った旧約聖書のすべてが、そこで成就しました。それが究極になります。それがその時代の神のことばの結びつきとなります。

そして、聖霊に満たされているこの時代の本当の生まれ変わった人々は、この終わりの日に成就されなければならないこの聖句の結びつきです。彼らは究極です。それは神の言葉であり、言葉は結びつきの柱であるキリストであるため、それは神の究極です。

それから逃れる方法はありません。あなたを結んでいる何かだから。

35 私が言ったように、それはあなたが通常はしないことをあなたにさせます。それはパウロに彼が通常はしないことをさせました。それはモーセに通常彼がしないことをさせました。それはすべての男性と女性に彼らが通常しないことをさせる。

それはあなたが中心に置かれているものです。それはあなたの安定剤です。それはどのようなものです。。。それは船へのアンカーです。嵐の時、船は錨に縛られています。そして、もしキリストがあなたの絶対的な存在であるなら、あなたは問題の時に彼と結びついていて、船を揺さぶると、岩にぶつかって壊れます。しかし、彼らが何をするか、彼らは錨を落とします。錨は岩盤に引っ掛かるまで引きずられ、船は錨に結び付けられます。それは船にとって絶対的なものです。

36 そして、生まれ変わったクリスチャンはキリストと結びついていて、聖書がそのアンカーです。それは私たちが結びついているものです。組織に、さまざまなことを、科学に、教育者に彼らが望むことを何でも言わせましょう。そのみことばがそれを言い、約束した限り、私たちはそれに結びついていて、それから私たちが動かさない何かがあります。そうです。本当の生まれのクリスチャンはそのみことばにとどまります。それが特定のことで、そしてそれを行う方法を言っている場合、それは私たちがそれをしなければならない方法です。他の誰かが何を言っても、それは神が言われたことです。私たちはそれに結びついていて、キリスト中心の生活です。

キリストもまた、北極星のようです。

37 あなたは世界が好転し、星が変わることを知っています。本当に、あなたが夕方の星として見るものは朝の星でもあります。世界はただそれに向きを変えます。しかし、それはそれらの星、つまり北極星以外のすべてから離れてシフトします。今、あなたは夕方の星にあなたのコンパスを置いてどこにでも行くことができず、翌朝何が原因ですか？あなたはそうです。西の夕方の星、そして翌朝あなたは東にいます。ほら、あなたはそれをするのはできません。しかし、あなたはそれをノーススター(アーメン)に置いて、彼女の死点を保持することができます、あなたは出てくるでしょう。

38 そして、それがキリスト中心の生活です。あなたが迷子になったとき、彼はあなたの北極星です。そして、彼が北極星であるなら、聖霊はあなたの羅針盤です。そして、コンパスは北極星のみを指します。それは信条や宗派を指すものではありません。それは感覚やそれが何であれそれを指し示すことはありません。それはノーススターにしっかりと留まります。彼はあなたのノーススターです。

あなたが迷子になったとき、あなたは宗派などでシフトするかもしれませんが。しかし、羅針盤(聖霊)はあなたをキリストであるみことばにまっすぐに向け、あなたを安定させます。それに結びつきます。

39 北極星がなかったらどうしますか？人はどうやって霧の海で自分の道を見つけるのでしょうか？もしあなたが神の言葉に導き、それを明らかにし、それを証明する聖霊がいなかったらどうでしょうか？この時間に何をしますか？聖霊はみことばのみを指し示します。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉(言葉の一部ではなく、すべての言葉、すべて、すべての言葉)によって生きるのです。」それは人が生きているものです。彼はあなたの人生において絶対的な存在です。彼はあなたの北極星でもあります。

ご存知のように、争いの終わりを解決するために、私たちは何か別のものを持っている必要があります。

40 ご存知のように、テーブルマナーが女性の言うことにかかっていた時代がありました。彼女の名前はエミリー・ポストだったと思います。私はそれについて間違っているかもしれませんが、そうだと思います—エミリー・ポスト。エミリー・ポストがあなたのナイフを手にとってそれと一緒に豆を食べると言ってもかまいません、それはマナーでした。なぜですか？彼女は絶対的なテーブルマナーでした。そうです。彼女があなたの手でそれらを食べると言った場合、あなたはあなたの手でそれらを食べる。なぜですか？この国は彼女を絶対的な食卓のマナーにした。はい、先生。

ドイツに絶対的な時代があり、それがヒトラーでした。それは絶対的でした。私は他の誰かが言ったことを気にしません、ヒトラーがそれをするように言ったとき、あなたはそれをします。あなたの方がいいです。彼は最後の言葉でした、ヒトラーはそうでした。

ローマに絶対的な時代があり、それが独裁者ムツソリーニでした。男は彼のために1分早く車を運転した。彼は彼を車の中で撃ち、けいれんさせた。「私は1分も早く言ったことはありません。私は時間通りにここにいると言いました。」絶対に！彼が何を言っても、彼らはそれをしなければなりませんでした。順番がありました。彼は自分の言葉で全世界を変えると聞いた。それは神の言葉によって変わります。

41 エジプトには絶対的な時代がありました。それはパロでした。私はそれらの場所を見るために一度エジプトに行きました。そして、私がローマにいたとき、そしてエジプトにいたとき、彼らが座っていた王座、つまりローマの皇帝を見つけるために、20フィート掘り下げる必要があります。ほら、それは絶対的なものではなかったのです、すべて歴史的な塵に戻ったのです。そうです。それは間違っていました。失敗しました。それは人工の絶対的なものでした。そして、すべての人為的な絶対的な、そしてすべての人為的な成果は、ほこりに行かなければなりません。彼らはほこりに行かなければなりません。種類が間違っているので失敗します。

42 私たちの国について考えてみてください。私たちが困ったとき、誰かが何かをして、彼らがここで、多分、おそらく都市の小さな裁判所(いくつかの警察裁判所)でそれを試みた場合、それは続きます。そして最後にそれは最高裁判所に来ます。現在、最高裁判所は国の絶対的な存在です。それで解決します。さて、カナダでは、カナダからの友達がカナダから女王に行くことができます。しかし、米国では、絶対的なのは最高裁判所です。

時々私たちは彼らの決定が気に入らないことがあります。しかし、とにかくそれを聞かなければなりません。はい、先生。私たちはそれに同意しません、私たちは時々決定が好きではありませんが、それはこの国の絶対的なものです。国はそれに結びついています。それはすべての議論の終わりです。その最高裁判所があなたが有罪であると言うとき、あなたは有罪です。私たちはそれを持っている必要があります。そうでなければ、国はありません。そのようなものがなかったらどうしますか？確かに。すべてに絶対的なものがあります。

43 野球には絶対的なものがあります。それが審判ですよね。そして、彼がそれがストライキだと言った場合、それはそれが何であるかです。あなたの言うこと、私が思うこと(私がそれを見た方法、あなたがそれを見た方法)を気にしないでください、それは彼が言ったことです。それは絶対です。彼がストライキと言った場合、あなたはそれに同意する必要があります。なぜなら、それが書かれる方法、つまりストライクだからです。審判員がいない場合はどうなりますか？さて、誰が正しいのでしょうか？

ある人は「ストライキでした」と言いました。

もう一人は、「ストライキではありませんでした。それはボールでした。それはでした。」なぜ、あなたは混乱するでしょう。あなたは何をすべきかわからないでしょう。

44 誰かの言葉が最終的なものであることがどこかにあるはずですが。アーメン！今は本当に気分がいいです。栄光、ハレルヤ！最終的なものがなければなりません。とてもうれしいです。ああ、それが罪である、またはそれが罪ではないと言うことができる誰かがいます。とてもうれしいです。絶対に嬉しいです。議論する必要はありません。議論する必要もありません。審判は「ストライク」と言いました、それはそれが何であるかです。それはストライキだということを頭に入れてマークを付けて、続くのです。

神が何かを言うとき、それはその通りです！それについて議論する必要はありません。それがそれです。彼はそう言った。それはクリスチャンの絶対的なものです—つまり、彼がクリスチャンである場合です。

神は「このようにしてください」と言われました。それが行われなければならない方法です。議論はありません。

「まあ」と言います、「そうではありませんでした。。。」

それについては何もありません。神がそう言われました。それで解決します。それは本当の信者にとって絶対的なことです。

45 そのようなものがなかったらどうしますか？ 私たちはどこにいますか？ メソジストは正しいでしょうか？ バプテスト、長老派、ルター派、または何が正しいでしょうか？ 分かりますか？ 私たちは持っているでしょう。それがあなたが混乱する理由です。そしてそれが理由です。彼らはその絶対的なものから解放されました。それが彼らがこれらの他の星と迷っている理由です。

しかし、絶対的なものがあります。絶対的なものがなければなりません。絶対的なものがなければならず、絶対的なものがあります。それが御言葉です。そして、他の人が言うことは、それは問題ではありません。はい、先生。

さて、もし私たちがボールゲームで審判員を持っていなかったら、誰もがお互いの髪を引っ張って、大騒ぎして戦っていたでしょう、見てください。それが私たちがキリスト教において絶対的なものを必要とする理由です—この髪を引っ張るのをやめ、大騒ぎして戦うのです。みことばがそれを言いました、そしてそれはそれを解決します。それに取ったり、取り除いたりしないでください。そのままにしておいてください。

46 ご存知のように、トラフィックには絶対的なものがあります。それがストップライト、交通信号です。ある朝、うまくいかない場合はどうでしょうか。ああ、私の！ あなたはそれらの1つに入ったことがありますか？ 私は持っています。間違いなくどんなドライバーも持っています。そのストップライトが機能していない場合はどうなりますか？ その後、みんなが大騒ぎします。

彼らはそこまで車で行き、「私が最初にここにいた」と言う人がいます。

そして彼らは言います、「私にあなたに何かを話させてください。私は仕事に取り掛かる必要がありました。」

ああ、何と！ 彼らは手帳を振る女性、拳で戦う男性、そして。あなたは混乱について話します！

絶対的なものがなければなりません。「これは正しい」という何かがあり、それだけです。そのライトが「停止」と言ったとき、それは停止を意味します。「行く」と言うとき、それは行くことを意味します。そうでない場合は、問題が発生しています。

47 そして、それはクリスチャンの生活の中でのやり方です。立ち寄る場所があります。そして、行く場所があります。神の言葉は絶対的なものです。それがキリストです。はい。

もしあなたが交通信号がオンになっていない場合は、交通渋滞が発生しています。そして、私はそれが今日の宗教的な国防総省で私たちがそこに立ち上がったものだと思います：偽信者、不信者、そしてすべてが一緒に詰まっている交通渋滞。交通渋滞が発生しました。なぜですか？ 彼らには絶対的なものはありません。

「まあ、私たちは絶対だ」と言う人もいます。

もう一人は「私たちは絶対だ」と言います。

神は絶対です。彼は言いました、「私のもの以外のすべての絶対的なものを嘘にしましょう。私のは真実です。」ですから、キリスト教には絶対的なものがあります。これですべての議論は終わりです。聖書はそう言っています。それは正しいことです。はい！

すべてに絶対的なものがなければなりません。

48 いくつか 今日教会のように。ほとんどの教会には独自の絶対的なものがあります。一人一人が自分自身を持っています—裁判官の時代のようなものです。すべての人は彼が正しいと思った方法でした。しかし、それは正しくありません。ほら、それは預言者の神の言葉が存在していなかった時です。みことばは絶対です。彼らは彼ら自身の絶対を持っていました。

一人一人が彼らが真実であり道であると言います。「私たちは真実であり道です。」しかし、イエスは彼が真実であり、道であり、真実、道、そして光であると言われました。そうですか？ さて、それでは、彼はみことばです。したがって、絶対的なものがあります。そして、宗派の絶対的なもの—それには何もありません。それは間違っています。それを手放す。

49 さて、人は自分の目の前で正しく行動します。しかし、神は彼がそれをする方法を持っています。ほら、神と彼の言葉と彼の預言者が行方不明になったとき、すべての人は彼がしたいようにしたのです、そしてそれが今日の状態です。一人一人が「私はこれに属しています」と言います。

「あなたはクリスチャンですか？」

「私は長老派です。」

「あなたはクリスチャンですか、私はあなたに尋ねましたか？」

ある女の子は、「私は毎晩ろうそくを燃やしていることをあなたに理解させます」と言いました。

別の男が言った。祈りの中で、私は彼にクリスチャンかどうか尋ねました。「私はアメリカ人です。なんてあえて？」それはそれと関係があるように、見てください。

彼らは国家と結びついています。もう1つは、組織、ドグマに関連付けられています。しかし、クリスチャンとは「キリストのよう」を意味し、あなたがキリストのようになる唯一の方法は、みことばであるキリストがあなたの中にあることです。それが究極です。はい。私は回心する前にこれを見ました、そして教会がそうする前に神が私を捕まえてくれてうれしいです。

だから私はいつ私が知っていました。。

50 立派なバプテストの牧師、ネイラー兄弟(彼は今日栄光の中にいます)、彼は降りてきます。彼は私に話しかけた。そして、ああ、私が神を見つけようとしていたときに私に話しかけてくれた人がたくさんいました。7日目のアドベンティストの説教者は私が彼らと一緒に参加することなどを望んでいました。しかし、私がクリスチャンになるとしたら、今は「私は7日目のアドベンティストだ」とは言えないことがわかりました。さて、それは大丈夫です。「私はバプテストです。」大丈夫です、ほら、でもそれよりももう少し確実なものが必要でした。

一人一人が揺れていたのも、私は信用できませんでした。「どこかに誰がいる。どこかに真実の何かなければなりません。」

51 それで、私は絶対的なものが必要だったので、私はそれ、つまり神の言葉を取りました。それで、私は彼がみことばであることをみことばで読み(ヨハネによる福音書1章)、そして「この絶対の上に私は私の教会を建てます」。そうです。それで私は彼の言葉を信じました。

黙示録22:19は言った、「だれでもこれから一言を取り除くか、それに一言を加えなければならない。」それは絶対です。これですべての争いは終わりです。これは絶対です。「それから何かを取り出したり、それに何かを追加したりする人は誰でも」と神は言われました、「私は人生の本から彼の部分を取り除くだけです。」だからそれは絶対でなければなりませんでした。

そしてイエスは、人はパンだけで生きるのではなく、すべての言葉で生きると言われました。それから私はこの「すべての言葉」がなければならないことを知っていました。言った、「教訓に基づいて、そして一列に並んで」それが書かれているように、それはそれが来なければならない方法です。それから彼は言った、「もしあなたがたがわたしの内にとどまるならば(彼はみことばである)、わたしの言葉があなたの内にとどまるなら、あなたは何をするか尋ねることができる」。

その時私は、キリスト教が神の言葉であり、彼が言葉であり、その言葉を受け入れることによって、その言葉が神を通して生きていたことを知っていました。それから私は「もしあなたがたがわたしの内にあり、わたしの言葉があなたの中にあるなら、あなたが何をするか尋ねなさい」と知った。そして、もしあなたがみことばの中において、みことばの一部であるなら、あなたはみことばがあなたに尋ねるように言われたことだけを尋ねるでしょう。あなたがその時生きている日を知り、それに応じて尋ねてください。

したがって、主題に戻ると、になります。今、これは個人的に話していますが、私は縛られています。私

はイエス・キリストの言葉によって、イエス・キリストと結びついています。彼は私の絶対です。私はこれらすべての宗派と物事が絶対的なものであることに気づきました。それぞれ、彼らは彼ら自身の絶対を持っています。

52 カトリック:その教皇が何かを言うとき、それはそれだけです。それはカトリック教会の絶対です。私は司祭が何を言うか、司教が何を言うか、枢機卿が何を言うかは気にしません。教皇がそれを言うとき、それはそれだけです。それは絶対です。正しく。

メソジスト教会、そしてプロテスタントの宗派の多くでは、司教が言うことは絶対です。それだけです。信条が言うことは、それは絶対です。

ペンテコステ派では、それは一般的な監督が言うことです—あなたがこの人をリバイバルに連れて行くことができるかどうか。それは絶対です。あなたは彼の言葉に同意しません、あなたは組織から追い出されました。ほら、みことばはまったく考慮されていません。ほら、あなたはこれらの絶対値を取得し、それぞれが独自の絶対値を持っています。

53 しかし、ご存知のように、私はこれを犠牲に言っているわけではありません。私はそれを真実のために言います。パウロが使徒行伝第20章24節でこう言ったとき、私はそのように感じています。私はあなた方の間でイエス・キリスト以外何も知らないと決心し、彼は十字架につけられました。」

それが教皇、司教、または一般的な監督、またはカウンセラー、またはシステム、またはそれが何であれ、私はこれらの絶対的なものに悩まされていません。これらのことのどれも私を動かしません。彼らが「まあ、私たちは協力しません。」それは少しの違いはありません。私はイエス・キリスト以外は何も知らないと決心しています。彼の言葉が私たちの間に明らかにされました。私はそれに縛られています。それが私の錨なのです。私以来、私はそれに固定しました。

パウロは言いました。「道で彼に会ったので、私は振り向いた。彼は私をまっすぐにしました。」

私！彼がどのように私をまっすぐにしたか。彼は私になんと矯正をしなければならなかったのでしょうか。しかし、彼が私をまっすぐにしたので、私はそれに縛られました。私はみことばが真実であるのを見ました。それとは反対のことはすべて間違っていました。

54 あなたは何を知っていますか？彼には私を救う目的がありました。彼にはあなたを救う目的がありました。そして、私は彼の意志によって、彼の意志を実行することを決意しています。彼がそれをした理由。なぜ彼がそれをしたのか分かりません。

それに追加したり、そこから取ったりしないでください。。。私が言ったように、黙示録22:19は「それをしないでください」と言いました。彼が私たちの絶対的な存在であるなら、そうでないことはあり得ません。それ以外の方法はありません。彼は絶対的な最後の言葉でなければなりません。

ご存知のように、私が救われたとき、何百万もの罪がありました。彼には私を救う目的がありました。私は兄弟たちの間で何度も奇妙な存在です。目的地、蛇の種、イエス・キリストの名によるバプテスマ、そしてこれらすべてのように思われることを信じています。そして、幻、そしてキリストの力が戻ってきて、組織や物事を非難しました。私は奇妙な存在です。

しかし、彼には私を救う理由、それをする目的がありました。何百万人もの人が罪を犯していたとき、彼は私を救いました。しかし、彼は何らかの理由で私を救ってくれました。彼が私を救った時、現場には教育を受けた人、賢い人、神学者、司教、医者などがいました。しかし、彼は何らかの理由で私を救ってくれました。

55 そして、私はみことばが絶対的であることがわかり、私はそれに結びついています。そして、私はイエス・キリストしか知らないと決心し、彼は十字架につけられました。彼にはその理由がありました、そして私はその理由を保持することを決意しています。

他の誰かが何を言っても、私は彼らを否定したり、信用を傷つけたりはしません。しかし、私は自分が何に結びついているのかを知っています。彼は私をこのように望んでいました。彼は私をこのようにしてくれました。私は目的のためにそのように作られました。私はこれらすべての資質など、そしてこれらすべての無記名で構成されていなければなりません。そうすれば、彼は私からそれを掘り出し、そこに何かを入れることができました。それが彼の言葉でした。そして、私はキリスト以外は何も知らないと決心しています。

56 キリストの死は絶対的なものでした。それは絶対的でした。死を恐れたのは彼らに対するすべての恐れが終わりでした。その時、彼の死は絶対的なものです。人々は死を恐れています。ヨブでさえ死を恐れていました。しかし、彼がその幻を見たとき。彼は彼の家族、彼の子供たち、すべてがなくなったことを知っていました。彼の悪臭が沸騰したので、彼の妻でさえ彼に背を向けていました。彼は家の外に座って、灰の山の上で沸騰したものをこすり落としました。そして彼の妻は、「なぜあなたは神を呪って死んでみませんか?」とさえ言いました。

彼は、「あなたは愚かな女性のように話します」と言いました。

それからエリフが彼に話しかけたとき。最近のある日、私はあなたのためにその名前「エリフ」を分解し、それがキリストであったことを示したいと思います。彼がこの状態にあり、すべてが彼に逆らったとき、彼はただ一人のビジョンを見ました。彼は自分のために違反に立ち向かうことができる人を見つけたかったのです。罪深い人と聖なる神に手を置いて、邪魔をしてください。そして神は彼に4000年先にそれを見させました。

それは彼の絶対的なものでした。彼は立ち上がって身を震わせた。ハレルヤ! 人が死ぬのが怖いときは、立ち上がって身を震わせてください。みことばを調べて、神の幻が何であるかを見てください。

57 彼はその幻を見ました。彼は言いました、「私は私の贖い主が活着していることを知っています。そして最後の日、彼はこの地球の上に立つでしょう、そして私はそれに自分自身を結びつけています。皮膚の虫はこの体を破壊しますが、しかし、私の肉体の中で、私は神を見るでしょう。神は私自身のために見るでしょう。私はそれに縛られている」と彼は言った。彼はそれを見ました。それは神の約束でした。

彼は自然の法則に目を通した。自然の法則の継続性、みことばの継続性、神の行動の継続性についてお話したように、すべてが継続性です。彼はヨブ記14章で尋ねました、「木が死んだら、花が死んだら、希望があります。しかし、言った、「人は横になって幽霊をあきらめます。彼は無駄にしています。彼の息子たちは彼を称えるためにやって来ましたが、彼はそれを認識していません。ああ、「それから彼は言った、「もしあなたが私を墓に隠すなら、私を隠して、あなたの怒りが去るまで私を秘密の場所に留めておいてください。」彼は死を恐れていました。

しかし、彼が予見したとき。預言者であるイエス・キリストの復活を見て、彼は「私の贖い主は活着している」と叫びました。見てください。彼は彼を「贖い主」と呼びました。見てください。「私は私の贖い主が活着していることを知っています、そして最後の日に彼は地球の上に立つでしょう。私の皮膚の虫がこの体を破壊した後でも、私の肉の中で私は神を見るでしょう。」神と贖い主は同じものでした、神と人は一つを作りました。「私は神を見るでしょう。神は私自身のために見るでしょう。私の目は見るでしょう、そして他の[アーメン!]ではなく、他の誰もいない、その贖い主である神です。」

それが私の目が見ている人です。彼は絶対です。彼は絶対です。彼は死からすべての恐れを取り除きます。彼はすべての恐れを取ります。

58 ヘブライ人への手紙では、第2章、第14節と第15節をご覧ください。彼はすべての人のように死ぬために人間の形をとりました。彼は人間(この贖い主)の形をとり、降りてきて、彼が死ぬことができるように人間にされました、すべての人のための一人の人間。ああ、彼はどのようにそれをしましたか? 神は何のために人になったのですか? 人間の罰を支払うこと。

しかし、イースターの朝、彼は死、地獄、そして墓の鍵を持って出てきました。アーメン。十字架で死ぬことができた神、そして墓は彼を保持することができませんでした。何もありません。地獄は彼を保持することができませんでした。何も彼を保持することはできませんでした。彼は立ち上がった。彼は鍵を持っていた。彼は死、地獄、墓の両方を征服したので、彼は征服者を起こしました。彼が地上にいたとき、彼は病気を征服しました。彼はすべてを征服した。彼は迷信を征服した。彼は征服されるべきものすべてを征服し、死、地獄、そして墓、鍵が彼の側で揺れている状態で出てきました。そして、高いところに登り、人に贈り物を与え、ペンテコステの日に戻って、ペテロ、教会にそれらを手渡しました。アーメン!

彼は私たちの絶対です。死へのすべての恐れ。彼が活着しているので、私たちも活着しています。

59 ローマ人への手紙第8章1節、「それゆえ、信仰によって義とされ、私たちは主イエス・キリストを通して神との平和を得るのです。」わかります。私はそれがローマ人への手紙5章だと信じています。。。そして彼は私たちの義化です。神は私たちの信仰を義化するために、私たちがそれを信じるように三日目に彼を

起こされました。そして彼は私たちの信仰を義化するために彼をよみがえらせました。

その時、彼は何をしましたか？ 私たちの信仰がそれを信じているので、彼は義化である彼を送り返しました。聖霊、キリストは、私たちが死から生へと引き上げられたので、私たちの義化のためにそこに来られます。そして今、私たちは神の息子と娘であり、キリスト・イエスの天の場所に座っています。彼の復活によって私たちが義化したのです。それは私たちに知る正当性を与えてくれます。今、私たちの内に私たちの救いが真剣にあり、キリストの命そのものが私たちの中で脈動しているのに、そして私たちにこの保証を与えるみことば(彼はみことばです)をどのように否定できるでしょうか？ 聖霊がそこにいます。

それはなんですか？ それはまだその北極星なのです。キリストはその北極星であり、聖霊は信者を真っ直ぐ北極星に向けさせるその義化なのです。

60 聖霊は常にみことばを指し示します。それが信条や宗派を指している場合、それは聖霊ではありません。彼はそれをすることができませんでした—彼がその言葉を確認するために死んだとき、彼の言葉から離れて指し示し、その言葉をポジティブなものにしました。アーメン！

彼は彼自身がそのみことばに入ることができるように死にました。彼はそのみことばを再び生きさせる命を早めるのです。それが彼の死ぬ目的でした。彼はまだ彼自身を彼の教会を通して投影し、あらゆる時代を通してあらゆる言葉をそれが本来あるべき姿で正確に行動させることができたのです。

61 彼は力学のダイナミクス、教会の力学です。それはなんですか？ 使徒、預言者、教師など。そして、彼はそれを機能させるダイナミクスであり、それはのよう呼ばれる特定のダイナミクスによって機能しています。彼はガスを発射する火です。彼は燃焼室にある火です。ガス(みことば)がその燃焼室に注がれるとき、彼は彼女に火をつけるものです。彼はそれを確認する人です。彼は復活の力です。彼は神です。彼は火です、それが彼です。

62 「論争なしに」とテモテへの手紙第3章16節は言いました。彼は罪人の代わりに来られた神でした。はい、先生。そして彼がいつ。神は三日目に彼を起こされました、それは私たちの義化のためでした。したがって、高位の威厳の右側で高く評価されている彼は、私たちにとりなしをするためのとりなし者です。私たちがそれを彼に告白し、私たち自身に死ぬときの私たちの弱さのために—彼の言葉を私たちに戻すという約束。そして、私たちの信仰はそのみことばを生かします。なぜなら、キリストが私たちの中にいて、みことばを促進するからです。

63 教会がそれを見ることができたらいいのにとおもいます！ すべての議論と争いは終わったでしょう。それが最高裁判所になります。それがノーススターです。ハレルヤ！ これですべての争いは終わりです。これですべての質問は終わりです。これですべての終わりです。神はそう言われました—それは絶対です。それに自分を結びつけてください。

パウロは、「現在も、将来も、死も、病気も、裸も、危険も、それから私たちを切り離すものは何もない」と言いました。私たちは絶対的なものと結びついています。「私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益である。」と言いました。それ以外に何も成り立たない。それは絶対です。

64 彼は私たちの中で育てられているので、私たちは復活の確信を持っているので、彼は私たちの絶対的な存在です。どうやって知るのですか？ 彼は生きています。彼はここで、彼が地上にいたときにしたことを正確に行います。彼は私たちがそこで写真を撮ったのと同じ火の柱です。彼は教会でも同じ人です。彼は今日ここにいます、そしてこの体の中で彼はその時と全く同じように演じ、行動します。

スイカのつるの命がカボチャに入れられた場合、それは別のカボチャに耐えることは決してありません。それはできません。なぜなら、それはスイカになるからです。その中での生活はスイカだからです。そして「もし私のあなたがたはわたしにとどまり、わたしの言葉をあなたがたにとどめ、あなたは何をするか尋ねる。」あなたはスイカを持っているでしょう。アーメン。

絶対。私はそれが真実であることを知っています。私は自分の魂をそれに結びつけました、そして私はそれが真実であることを知っています。それは神の言葉です。彼は私たちの絶対です。

65 第2テサロニケ人への手紙第2章、私たちは愛する人たちに追いついて空中で彼に会うことを読みました。ああ、私の心が彼の本のすべての言葉にどのように脈動するか。アーメン。神は私たちが愛する人に会うために空中に巻き込まれると言われました。「アーメン」と御言葉が私の心の中にありました。御言葉がそ

ここにあるからです。

主よ、私はあなたに対して罪を犯さないというあなたの言葉を心に隠しました。私はそれらを私の指やベッドポストに縛り付けます。あなたはいつも私の前にいます。私は動かされません。ええ、私は死の影の谷を歩きますが、私は悪を恐れませんが、あなたは私の絶対的な存在だからです。私はそこを通り抜け、そしてあなたは私を引き出します。私は私の船の深海に行きます、あなたは私の錨です。アーメン！

あなたはそこのベールの後ろにいます。嵐の中を私を導くのはあなたです。そこにいるのはあなたです、私の栄光の錨です。私が谷の影、死の影に降りてくるとき、私がヨルダンに降りてくるとき、私が渡らなければならないとき、彼は私の絶対的な存在です。私は反対側で復活した方と結びついています。彼は私を危険な海に引きずり込むでしょう。私はあなたが私と一緒にいるのに悪を恐れませんが、アーメン！嵐を激怒させましょう。生、死、そこに何があろうと、何も私を引き離すことはありません。私はそのポストに縛られています。

そのポストは成り立つ。それはベールの中に保持されます。それは固定されました。それは向こうの神に対して錨を下ろしました。それは私の心に固定されました。聖霊は私をその約束に駆り立てるものです。「私は[私はそうではありません、私はそうでした、私はいつかそうなるでしょう]、私は復活であり命です」と神は言います。「私を信じる者は、死んでも生きるでしょう。そして、私を生きて信じる者は決して死ぬことはないでしょう。」

66 死にやりたいことは何でもさせてください。私は説得されているので、それは私を悩ませることは決してないでしょう。私を連れて行くかもしれない病気や、いつか銃からの弾丸でさえ私を連れて行くかもしれないと私は確信しています(私はそれがどうなるかわかりませんが)、それは私にどのような違いをもたらしますか？ 私が生きるとはキリストであり、死ぬことは利益です(ああ、私の!)、なぜなら私は決心しているからです。私は彼が死の川の向こう側に座っているのを知っています。彼はいつか私を彼の前に引き寄せ、十字架での彼の死を私が受け入れたという彼の義によって正当化されます。神は私たちの間に肉を作り、まだ私たちの中に肉を作りました、まだ私たちの肉の霊！アーメン。

彼は私の絶対です。彼は私のすべてです。それ以外のもの。腕には何も持っていません。私はキリスト以外に何も知りませんが、そして彼は十字架につけられました。キリスト以外は何も聞きたくありません、そして彼は十字架につけられました。私の心は彼の約束のすべてに「アーメン」と言います。だからこそ、彼の聖霊が私をみことばに導く羅針盤であることを知っています。

67 それらの幻の1つが私に何かを言ったことはありませんが、その言葉で正しかったことはありません。ああ、それは私が私の確信を得たところです、兄弟。彼がそのことについて私に言ったその夜、私はそれらの幻を見てきました。そして、私はあなたの関心呼びます。その幻がみことばに反することを言ったことはありますか？ それが間違ったことは一度もありません。なぜですか？ それは神です。それが私の結びつく柱なのです。

そして、ある朝、川の向こうにいる愛する人を見た幻の中で知っています。そこにあります！私はその約束の地に行きます。いつかそこで会うことになりました。はい、確かに。彼は私の絶対です。彼は私の太陽です。彼は私の人生です。彼は私の結びつく柱、私の北極星です。彼は私が今まで考えられたすべてです。彼は私にとってそれです。彼は私の人生です。

68 宗派？ 私にとって、あなたの気持ちを傷つけることはありません—私はそれをしたくありません—しかし、みことばは両刃の剣のようなものです。特に暗闇で切断しているときは、切断せずに押すことはできません。宗派は他の星のようであることに注意してください。彼らは世界の変わり目に伴って変化します—そうです、世界が行くあらゆる方向に。彼らは女性に髪を切らせたり、ショートパンツを穿かせたり、その他すべてをさせました。それはハリウッド、そして他のすべてと一緒にシフトするだけです。

しかし、ああ、兄弟、それはまだ真実のままです！ 生きている神のその動かさない言葉はまだ真実です。それは私の絶対です。それが言うのは真実です。

宗派を好きな場所に移してみましよう。彼らはイエス・キリストの名前を称号で信用を傷つけたいのです、それは彼ら次第です。しかし、私には、天の下で人の間に与えられた別の名前はありません。それによってあなたは救われなければなりません。私にとって、それが基本的な言葉です。礎石があるところがあります。私は宗派なしでシフトしたくありません。

69 ここにコンパスがあります。聖霊は私を絶対的なものにまっすぐに向けます。「天と地の両方が滅びるが、私の言葉は決して滅びることはない。」そして、私はそれを私の心の中に隠しました、そして聖霊は私にそれを正しく指し示しました。私は他に何も知らないと決心しています。それは私の絶対です。ただそれをそのようにしましょう—それが私が望む方法です。ああ、何と!

さて、兄弟、姉妹、彼の中であなたを絶対にしてください。はい。

70 少し前に私がここで抱えていた問題の時に、失われた妻、子供、すべてが、誰かが私に言った、「あなたはあなたの宗教を守りましたか?」

私は「いいえ、それは私を守りました」と言いました。

ほら、いつかまた会えることを絶対に知っていました。アーメン。もし絶対的なものがなかったら、私はそれを成し遂げることができなかつたでしょう。それは私が縛られていた場所に違いをもたらしました—私は彼らに再び会うことを知っていたからです。

さて、私は恵みによって、「私はあった」ではなく「私はある」と言った彼と結びついています。「私はあつてあるものです。」常に存在し、遍在し、遍在している。。。全能で、無限です—彼はそうです。「私は」ではありません。「私はあるのです。」彼はまだ復活です。彼はまだ北極星です。彼はまだ私にとってすべてです。

71 モーセには絶対的なものがありました。彼がその燃える茂みに会ったとき、それは彼にとって絶対的なものでした。ヨシュアの時、ヨシュアの時。。。ああ、あなたが知っている、時々あなたが絶対をとるとき、絶対はあなたをパラドックスに導くでしょう。そうです。はい。パラドックスは現実的なものですが、説明することはできません。それは逆説です。ヨシュアがそこに立って、彼が必要を持っているのを見たとき。。。。

神は彼にそこに行ってその土地を奪うように命じられました—彼ら全員をむち打ち、イスラエルをその土地に入れました。そしてある日、軍隊は敗走し、田舎に出ました。そして、あなたが最初に知っていること。彼は、彼らを破滅させている限り、彼らが鞭打たれたことを知っていました。それで彼がそうしたとき、太陽は沈んでいました。そして、ヨシュアは絶対的なもの、つまり創造主である神の言葉と結びついていました。彼はしなければならぬ仕事に縛られていた。アーメン。

72 時々それをしなければならぬのは楽しいことではありません。あなたは感情を傷つけ、切り刻み、切り刻む必要があります。しかし、それは絶対的なことです。

彼には必要がありました。彼は言いました、「そこに立って、太陽。あなたはその向こうにじっと立っています。月、あなたはすぐそこにぶら下がっています。」そして24時間彼女はじっと立っていました。ああ、パラドックス(逆説)について話してください! しかし、彼は任務で絶対に縛られていました。はい、確かに。神は彼に命じられました。

ヨハネは鳩が彼に出くわしたときに彼が鳩を見ると確信していました。ダマスコに向かう途中のパウロのように、その火の柱を見たとき、それが神の絶対的なものであることがわかりました。来ていました。。。リバイバルが土地を一掃しようとしていました。私はそれがイエス・キリストの再来を予告することを知っていました。そして、私は今日でもそれを信じています。それは逆説でしたが、それは私の絶対です。確かに、火の柱が空にぶら下がっていて、書類やすべてのものが写真を撮るのは逆説でした。

73 先日、3~4か月前に「先生、今何時ですか?」と言われたのは、3月15日(または5月15日、去年の3月15日だと思います)の逆説でした。と私たちはそこに行くと言いました、そして7人の天使が会って戻ってきて、7つの封印の本が開かれるでしょう。そして、フレッド・ソスマン兄弟(ちょうどそこに「アーメン」と言った)と一緒にそこに立って、彼のそばに立っていたのです、なぜ、私は彼らに国を揺るがすような音があるだろうと言いました。そして私は言いました「そこにあるでしょうしたがって、それは主が言われるのです。」それはずっとテープ、テープ、フェニックスからのテープにあります。それは「主がこう仰せになられる」です。

74 ある日、そこに立って、私の足からオナモミ(または小さなブルヘッダー)を拾い上げ、7人の天使が空から突破し、50ポンドまたは60ポンドの岩が丘の中腹を転がるまでその場所を揺り動かしました。そこに7人の天使が立っていて、戻ってこれらのメッセージを持ってくるように依頼されました。そして、彼らは一人ずつ会って何が起こったのかを話すと言いました。そして、それはまさにそのように行われました。そして、彼らがそのように高いところに登ったとき、空中30マイルの高さに行きました。そして同じ日に彼らはその写真を

撮りました、科学はそうしました、そして世界中を回りました。それは逆説ですが、絶対的なものでした。それは私をイエス・キリストにしっかりと結びつけ、私の人生をイエス・キリストに巻き込みました。私はそれが奇妙に見えたのを知っています。常にそうです。

ダマスコへの道でパウロがイエスに会うのは逆説でした。神が黒い罪人の心を変え、彼自身の血でそれを白く洗うとき、それは逆説です。それは確かに逆説です。パラドックスを信じますか？そして、そのパラドックスは、それが神の言葉によるものであれば、それはあなたの絶対的なものになり得ます。パウロの回心には逆説であり、彼の絶対的なものになりました。

75 しばらく前にここで覚えておいてください、私は古い薬剤師と一緒に座っていて、私たちは小さな場所で話していました。彼は言った、「ブラナム兄弟、私はあなたに何かを聞きたいです。」そして彼は彼自身バプテストでした。彼は「あなたはパラドックス(逆説)を信じますか?」と言いました。

私は言いました「もちろんです 確かにそうです。」

「私はあなた以外の誰にもこれを言わないだろう」と言いました。「しかし、私はあなたがこれを信じていることを知っています。」と言いました。彼は、「うつ病の時期に、彼らは病人のために薬をもらうために郡から命令を受けなければならなかった」と言いました。そして、「ある日、私はこのドラッグストアに座っていました。」と言いました。「私の息子は顧客を待っていました。」と言いました。

そして、「女性が入ってくるのを見ました」と言いました。「彼女はでした。彼女がすぐに母親になることがわかりました。」そして、「ささいなことはほとんど立ち上がれませんでした。そして、彼女の夫は、両方の服装が貧弱でした。そして彼女はカウンターの横にもたれかかった。

「そして彼は行って私の息子に尋ねました、彼は言いました、「私はここで、医者から処方箋を受け取りました。」彼は言った、「私のためにそれを埋めて、妻を家に連れて行ってくれませんか?」彼は言った、「私は彼女をその列に立たせようとした。そこの通りを見下ろしてください」と彼は言った。「それは4、5時間になります。」そして言った、「彼女は今立つことができません。分かりますよね。」

76 「そして、若い人は言いました、『先生、私はそれをすることができません』。彼は言った、「私は最初にその命令をしなければならないでしょう。」言った、「私はそれをすることができないので。それはただ規則に反しているのです。」そして言った。」

彼のお父さんは、男の子が言ったことを聞いて、そこに座っているとしました。そして彼は言いました、「ちょっと待ってください、息子、それは何ですか?」そして、彼はそこまで歩いたと言いました。そして、その老人、本物のクリスチャン、本物の聖人の老人は、「それは何ですか、私の良い兄弟ですか?」と言いました。

そして彼は「先生」と言いました、「私の妻、彼女はちょうど配達する準備ができています。」と彼は言いました。彼は言いました、「私は 私は医者から注文を受けました、ここで、いくつかの薬。彼女は今それを持っているに違いありません。」そして、「私は彼女を降ろしてそこの部屋に立った」と言い、「私はこのラインを見てください。」「今日の午後になるかどうかは疑わしい」と言った。「これを埋めてくれないかしら?」と言いました。「私はそこに立ちます。私はあなたのためにお金を受け取ります一郡がそれに対して支払う命令です。」

「なぜ」と彼は言いました、「確かに。私はあなたのためにそれを手に入れます。」そして彼はただ命令を下し、戻った。

彼は彼の男の子が続けて、誰か他の人を待ち始めたと言いました。「お嬢さんは2、3回気をつけていました。彼女はただそこに立っていて、汗をかいていた。彼女が非常に病気であることを知っていました、そして、兄弟は彼女の周りに腕を組んでそこに立っていました、あなたは知っています、「ちょっと待ってください、ハニー、今はもう少しだけ」と。「良い薬剤師が私たちに薬をくれるだろう」と言った。

77 彼は、「私はできるだけ早く薬を直し、処方箋を満たしました。」と言いました。そして、「私がそれを彼女の手に渡し始めたとき」と彼は言いました、「ブラナム兄弟、私は見ました、そして私はそれを釘で傷ついた手に入れていました。」彼は「眉にとげが見えた」と言った。彼は「目を閉じて振り返った」と言いました。彼は言った、「私はその時、私が『これらの私の小さな子供たちの中で最も少ない者たちにしたのと同じように』、それは彼に行われたのだと気づきました。」「あなたはそれを信じますか?」と言いました。

私は言いました「心から博士 私はそのすべての言葉を信じています。」

それはなんですか？彼は言いました、「それ以来、キリストはその女性のためにそれをするので、私にとってもっと重要でした。」「それは逆説でした。疑いの余地はありませんが、一般の人々はそれを信じないでしょう」と語った。

私は言いました「はい そうです。」私は言った、

78 「聖マーティンが彼を読んだときのことを覚えています。」彼が少年だったとき、彼は神から呼ばれました。彼の民は異教徒であり、彼の父は異教徒でした。ちょっと、ああ、わかりません。軍人だと思います。そして、彼らの少年たちが彼らに従うのは正しかった。

彼はある日その街を通り抜けると言い(今どこにいたか忘れて、彼はフランス人だったと思います)、彼はそのギャップを通り抜けていると言いました。そこに横たわっている老人がいて、凍死しました—非常に寒い天気—そして通りかかった人々は彼に何も与えませんでした。そして彼は立っていると語った。そして人々は絶対に信者であると公言していて、通り抜けるでしょう—老人をそこに寝かせてください。そして彼は彼を包むために何かを懇願していました。彼は凍死していると言いました。

79 そして、聖マーティンはそこに行き(彼の回心の前に、今)、兵士である彼自身のコートを取り、それを2つに半分に切りました。そして、古いお尻をそのように包み、もう一方を彼の周りに置きます。人々は彼を笑い、「ハーフコートを着た変な格好の兵士」と言いました。ほら、それはあなたに奇妙なことをさせます。彼の中に何かがあり、彼は神がいると信じていました。

その夜、彼が引退して少し眠った後、目が覚めました。誰かが彼を起こしました。彼は見た。彼のベッドのそばに立っています。そしてそこにイエスが立っていて、他のコートに包まれていました。それが聖マーティンの始まりでした。それは何でしたか？彼は神の言葉が真実であるという絶対的なものを持っていました。「あなたがこれらの私の小さな子供たちに何をするか、あなたは私にそれをします。」兄弟、私はその絶対に縛られています。そして、私はあなた方一人一人がそれを知っています。

80 今朝、祭壇への呼びかけの代わりに、奉獻の呼びかけをしたいと思います。この絶対に自分を奉獻しましょう。あなたはみことばが神の絶対であると信じますか？彼は今日も今までと同じだと思いますか？

ここにはミニスター達があります。あなたの人生(命)を奉獻してみませんか？ただ。。。絶対に見てみましょう。今日は何が欲しいですか？フェローシップカードまたは資格情報で何が欲しいですか？イエス・キリストが欲しいのです。私たちはフェローシップカードに縛られていません。私たちは、昨日も今日も、そしていつまでも変わらないのです、神のことばであるイエス・キリストと結びついています。あなたはそれを信じますか？今、立ち上がって、私たちの人生を奉獻しましょう。私も欲しいです。

私は自分自身を新たに結びつけています。私は結び目の結び目をチェックしています、絶対をチェックしています。主よ、あなたの言葉以外に何かがあるなら、それを取り除いてください。私はあなた以外何も知りません。私はあなた以外何も知りたくない。

さて、それぞれ独自の方法で。。。。

81 私は一週間ずっとあなたと話していました。私はあなたに真実を話しました。神は真実を確認されました。彼は何度も何度もそれを成し遂げました。あなたは絶対が何であるか知っています。さて、あなたと私が一緒に、すべてのあなたの女性、すべてのあなたの男性、男の子、女の子、あなたが何であれ。。。私たちがどこにいても、ここにいるすべての合唱団、すべての人々、一緒に、地下、バルコニー、壁の周り、翼に戻って、イエスを絶対に連れて行きましょう！私たちは死の影の谷に来なければならないからです。私は彼以外何も知りません。彼は私の人生で育ったので、彼は私の絶対的な存在であり、私は彼が本物であることを知っています。

82 さあ、手を挙げて祈りましょう。私たちの奉獻奉仕をしましょう。

主イエス様、あなたの言葉は古くからのものです。それが始まりであり、終わりです。私は今、この会衆と共に、今日この説教壇の上に新たに自分自身を奉獻します。私はこの教会、生命の幕屋に奉獻を求めます。すべての違いを解決し、それをすべてなくし、過ぎ去りし者は過ぎ去りし者になります。神よ、心配して何かが起こると思った福音の奉仕者たち、私たちは今朝、みことばであるイエス・キリストと結びつき、十字架につけられたキリストと彼以外の何も知らないとは決心します。

北の星よ、聖霊よ、神の羅針盤よ、今、すべての心に来てください。そして、私たちはあなたに自分自身を奉獻します。イエス・キリストの御名によって。神に栄光を！アーメン！大丈夫、兄弟。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7